

# 新制作座だより

vol.6

2015 WINTER

<http://www.shinseisakuza.com>

## 新年のご挨拶

**明** けましておめでとうござい  
ます。

皆様には、ご健勝で新春をお迎  
えのこととお喜び申し上げます。

今年、劇団新制作座は創立65周  
年を迎えます。これもひとえに、ご  
支援、ご協力また、私たちの演劇を  
観ていただいた多くの方々のお

平成27年 元旦

## 恭賀新禧

時代は移り世の中の状況も変化  
している現在、「この社会の中で演  
劇のはたすべき役割とは?」「私た  
ちは何を観客に届けていくのか?」  
をもう一度初心に帰って自問しつ  
つ歩み続けたいと考えています。

10月の日本橋公会堂『65周年記  
念「泥かぶら」東京公演』でお目  
にかかれましてを楽しみに。  
皆様ご一家の益々のお栄えと

蔭と中心より御礼申し上げます。

劇団が創立された昭和25年、日  
本はまだまだ第二次世界大戦後の  
混乱の中、人々の心も荒廃した時  
代だったに違いありません。その  
時代の中で芸術家眞山美保は、演  
劇に確かなメッセージを込め大衆  
に演劇的カタルシスとダイナミズ  
ムを伝え  
ました。☑

ご平安を  
お祈り申  
し上げます。

(新制作座一同)



2015年 元旦 新制作座 新年の集い

## 新年の集い

**劇** 団の年間の恒例行事はこの  
元旦の新年の集いから始ま  
ります。今年嬉しいことが3つ  
ありました。

その1つは参加者が多かったこ  
と。劇団員だけでなく、自称準劇団  
員のケアマネージャー松浦さん、お  
節料理を習いに来た尽さん、寄宿  
生の北野くん、近くに住んでいて  
花に水やりに来る高三の高島さん  
など、若者の参加で華やきました。

2つ目は、藤川光子さんに「新制  
作座賞」が贈られたこと。  
紋服の眞山蘭里理事長が  
読み上げる賞状に涙し、  
藤川さんの感謝の言葉と  
その笑顔にまた涙。

3つ目は、会の始めに  
眞山理事長が挨拶の中で  
万葉集の最後の歌、大伴  
家持の「新しき年の初め  
の初春の今日降る雪のい  
やしけ吉事」を読まれた  
時、それまで風花のように  
舞っていた雪が辺りを白  
く染める様に降りしきつ  
たのです。まるで吉き事が降り積  
る様に。そして、おいしいお節を  
賑やかにいただいた後、全員の「今  
年の抱負」のスピーチが始りまし  
た。一人一人胸の奥から発せられ  
る言葉は重く真剣で、全員の胸に  
理解と静かな決意が広がっていく  
のを感じました。(記・江崎はん)

## 「星槎国際高等学校」

八王子学習センターセンター長 青柳丈士先生より

### 『あの頃の好奇心は、

### これからのあなたへと続いている』

**あ** けましておめでとうござい  
ます。

私は昨年4月から一緒にお仕事をさせていただいています。共に食事をする機会も多く、いつ聞いても面白いエピソードがたくさんあります。無邪気で好奇心旺盛で、楽しそうに当手を振り返ってお話をしてくれます。

劇団新制作座のみなさんは、共に学び、感動し、食事を共にし、時には悔しがり、共に生活を送る家族のような存在です。朝出かけて、夜に帰ってくる「ただいま」

## 「星槎高尾キャンパス」

星槎高尾キャンパスキャンパス長

平澤 晶子先生より

### 『共に歩み、共に生きる場所』

**学** 校と劇団が共に歩みを始めてから、もう6年が経とうとしています。私がこのキャンパス

に机を移してからは4年。本当に色々な変化があり、発見があり、学びのある日々を送っています。

さまざまな人たちが行き交う星槎高尾キャンパスは、平日は高校生が教室やログハウスなどで授業を行い、土日は地域の人たちがお稽古事やサークル活動などで使用しています。放課後にはお

稽古している劇団の歌が聞こえてきたり、かと思えばブータンやミャンマー、ニューヨークからの留学生の受け入れを行ったり、地域の小学生が遊びに来たり。食堂では劇団員と寄宿生、教職員が同じ鍋をつつき…。世代や文化、国籍を超えて人々が集うキャンパスとなってきました。

私はこの日本初の学校と劇団の歩みの中で、星槎の理念でもある「共に生きる」ということを学びました。劇団と共に生きる、地域と共に生きる、世界と共に生きる、自然と共に生きる。そして何より、劇団の歴史があり、星槎の歴史があり、それを守ってきた人たちがいるということ。

それらすべてが共に生きていく場所。そんな星槎高尾キャンパスをこれからもどうぞよろしく願っています。

## 「泥かぶら」

### 長野県上伊那郡

### 箕輪町公演のご報告

**箕** 輪中学校の保健指導の北野通江先生より一通のメールをいただいたのは、今年の夏でし

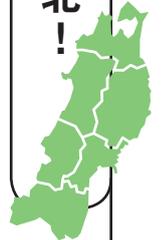
た。前任の校長先生が語る「泥かぶら」の話が忘れられず、新制作座のウェブサイトを見て、ぜひ生徒達に「泥かぶら」の舞台を観せてあげたいと思われたのでした。

心の健康という意味で何か良い物を子供達に触れさせたいと、町から予算が出るのです。それで「泥かぶら」を呼ぶことができるかとの相談でした。「泥かぶら」の舞台は学校の体育館を一つの劇場に創り変えるため、緞帳幕を張ることを始め、とても大がかりな機材と労力と時間が必要となります。

町から出る予算では足りない事を知った北野先生は、関係の方々に呼びかけ、走り回ってくださいました。そして私達も宿泊はせず、マイクロバスで朝5時に出発し、舞台創りをして公演をし、その日のうちに帰るという日程で経費を抑え、この年の10月14日の公演が実現しました。

当日、真剣に一つの私語もなく食い入る様に舞台を観る生徒さん達に私達も感動しました。最後に校長先生より身に余るお礼の言葉をいただき、幸せな一日となりました。(記・木村幸子)

# 行くぞ東北!



クラウドファンディングのご報告と、  
『第5回 東北応援プロジェクト  
岩沼公演』に行つてまいります!

昨年9月、初のクラウドファンディングに挑戦しました。しかし目標金額に遠く及ばず、プロジェクトは成立しませんでした。応援してくださった皆様、本当にありがとうございました。

今回の挑戦は、とても勉強になりました。何とか見通しを立てて、実際奮起しましたし、知恵を出さなければと必死になりました。

幾度も岩沼を訪問しました。

その活動の結果『第5回 東北応援プロジェクト「泥かぶら」岩沼公演』(2015年1月18日(日) 会場:岩沼市民会館)は、地元開催の岩沼市の共催くださる皆様のお力添えにより、公演資金のめども立ち無事開催出来る運びとなりました。

後援者はご年配の方も多く、ネットの環境になじみが薄かったこともあり、チラシと趣意書を持って行脚して支援金を集めてくださいました。

READYFOR? 10地域特集

演劇「泥かぶら」を宮城県岩沼市の仮設住宅の親子に届けたい!

現在の達成金額 31,000円  
目標金額 1,000,000円  
スポンサー募集終了まで 63日  
支援した人数 5人

このプロジェクトの支援に参加する

このプロジェクトは12月9日(日)午後11:00の時点で、1,000,000円を上乗せした場合は、決済が完了されます。

¥3,000 の支援で受取る金額  
在庫無し  
■「泥かぶら」公演のパンフレット  
■劇団発行「製作座だより」にてお礼とご報告

2名購入済

¥5,000 の支援で受取る金額  
在庫無し  
■「泥かぶら」公演のパンフレット (公演地までの交通費・宿泊費は含まれません)  
■「泥かぶら」公演のパンフレット  
■劇団発行「製作座だより」1冊分お礼

1名購入済

このプロジェクトについて  
劇団新作座で上演中の「泥かぶら」の舞台を、宮城県岩沼市の仮設住宅の親子に届けたい! 被災地の子どもたちに出演していただき、親子500組を無料ご招待します!

はじめまして、劇団新作座の舞台俳優、小澤和輝と申します。劇団新作座は、劇作家・演出家の真山美保が1950年に旗揚げ以来64年間、オリジナルの戯曲で全国を公演しています。代表作「泥かぶら」(上演回数1500回・文部大臣助産奨励賞受賞作品)を持って来春、地元岩沼市とのあたたかい交流と協力の中で、公演を実現させていきたいのです。そして今回、宮城県岩沼市の仮設住宅にお住まいの親子を中心とした500組、100名を無料「泥かぶら」に無料ご招待します。(ご年配の方も別途ご招待いたします。)

しかし、大道具の運搬費用・俳優・スタッフの宿泊費・交通費・照明・音響の仕込み費、その他合わせて100万円が足りません。また、これらの公演活動

何度も観たという中心の方の説得力の賜物と言えます。深く感謝しております。「泥かぶら」を楽しみに待っている皆様の期待にこたえらるよう、稽古を積んで舞台に臨みます。頑張ってくださいませ!

新制作座 一同

## 「泥かぶら」 静岡英和女学院 女子中学高等学校公演のご報告

昨年11月17日、静岡英和女学院女子中学高等学校での公演がありました。

この公演は5年がかりで実現したもので、以前に制作担当者がお会いした先生が校長になられ、「泥かぶら」を生徒に観せたいと呼んでくださった公演です。

歴史のある学院で、先般終わつたNHKの朝のドラマで有名ななつた村岡花子さんも何度か来校されたそうです。

事前の下見で会場となる礼拝堂を見たとき、これは仕込みが大変だなと思いましたが、そんな思いは表に出さず「大丈夫出来ますよ」と先生に話し当日を迎えました。午前7時に開門してもらい仕込み開始、素敵な可愛い礼拝堂で、舞台のセットを置くにも空間がありません。仕方なく礼拝用の長椅子の上に置かせてもらい、空いている場所は舞台の道具でいっぱいになりました。舞台の間口も今までにあまりなかった位の狭さ、仕込みに苦心し時間一杯かか

りましたが何とか定刻に幕を開けることが出来ました。

舞台はハプニングもありましたが、素晴らしい客席を創ってくれた生徒さんに助けられ、とてもいい公演になりました。公演の後、生徒さんの人気者一番はこずえさん。「一階席からこずえを見つけ」こずえさん!」と声がかかりました。生徒さん達が共感する何かがあるの役にあるのでしょうか。終演後、この公演を実行してくださった校長先生、担当の先生もとても喜んでくださっていました。可愛い乙女達に囲まれ又一つ、一期一会の忘れられない公演が終わりました。

彼女達が健やかに成長される事を祈りながら学院を後にしました。  
(記・山形久人)

## 「泥かぶら」 川崎市教育文化会館 芸術鑑賞会のご報告

去る11月19日、川崎市教育文化会館にて、【午前部】神

奈川県立大師高等学校、「午後の部」星槎高等学校、星槎国際高等学校 横浜鴨井学習センター、横浜国際福祉専門学校の合同芸術鑑賞会が行われました。

この公演は「泥かぶら」短縮版の初めての1日2回公演と、終演してから16時半までに撤収しなければいけないという少し厳しい条件の中で行われましたが、2回の公演は、各自が入念にチェックして場当たりなどし、ミスなく終える事ができ、撤収の方は、今回3人の若者(星槎国際高等学校 八王子学習センターのOB)が手伝ってくれました。彼らは何か困った時には手伝ってくれる頼りがいのある若人です。そのおかげで予定より30分以上も早く終わりました(嬉しい悲鳴・・・)。

公演に携わった方々ありがとうございました。(記・亀川忠助)

## 「イベント」

### 八王子学習センター文化祭によせて

11月22日 星槎高尾キャンパスにて「星槎フェスタ2014」と銘を打って、星槎国際高等学校八王子学習センターの文化祭が開かれました。今回のテーマは「PRID OF JAPAN」東日本編でした。

世界に誇れる東日本の文化・芸術、産業等に光を当て学習してきた成果を生徒自ら発表し、自分達が生活しているこの地の素晴らしさを改めて認識することが出来たと思います。

今回の文化祭を訪れた数百人の見学者の目を引いたものの一つには、劇場の壁面、つまり野外メインステージの背景に「星槎魂・日本の誇」と毛筆で書かれた文字がありました。これは学校の依頼を受け、原泰賢氏が畳20畳程の大きな紙に特製の筆を使って力強くかつ絶妙な調和をもつて書かれたものです。土台の紙は、

木村幸子・山形久人両氏が試行錯誤の末作り上げました。文化祭のテーマに沿った立派な金看板を背にして参加者の心を奮い立たせたに違いありません。



野外メインステージ  
原泰賢氏による「星槎魂・日本の誇」の書

またログハウスの一角に劇団直営のブティックとして、眞山美保先生が集められた素敵な品々の即売会を開き、生徒の保護者、卒業生、近隣の方々に買っていただきました。数万円の売上げ全てが今後の東北応援公演の費用に当てられることとなりました。

秋の早い夕暮れまで、若者達の熱い歓声に溢れていました。ここに多くの友情・絆を確かめることが出来、明るい希望を見せてくれてありがとうと言いたいと思います。(記・斉藤平)

## 「泥かぶら」

### 栃木県佐野市 芸術鑑賞教室のご報告

去る11月27日、栃木県の佐野市文化会館で「泥かぶら」

2回公演がありました。

2014年の大千秋楽を迎える私たちにとって、この佐野公演は、3年間連続3度目の舞台でした。毎年、市内の中学二年生全員が観劇するこの企画は、当時の産業文化部の課長さんの熱意で、市を動かし実現しました。佐野市の子ども達に、芸術に触れさせたという心から誕生した企画でした。

紅葉が最高に美しい劇場の周りをランニングしながら、今日の舞台について考えながら、細やかなお心使いで迎えてくださいました佐野市の皆様から感謝し、これからも「泥かぶら」佐野公演が継続できますようにと祈りました。

終演後、ロビーに見送りに出ますと、キラキラした目をしてはにかみながら、ハイタッチして歓声をあげた少年少女たち、ありがとう！

大きくお育ちください。また  
いつかお逢いしましょう。

(記・小津和知穂)

## 「イベント」

# ミャンマーからの 留学生をお迎えして

2 014年12月11日(木)、星  
様グループ宮澤会長のご尽  
力で実現したこの企画。11月30  
日に成田に到着したミャンマーか  
らの5人の方(2人は先生、3人が  
学生さん)が2週間の日本国内の  
研修日程を無事終えられ、この日、  
主な宿泊拠点であった星様高尾  
キャンパスにおいて修了式が行わ  
れました。

今回のメンバーは先生も上は  
34歳、学生さんは19、20歳と若い  
皆さん方。但しミャンマー国内で  
は理工学系の各専門分野で希望  
者が集り、数百人の中から選ばれ  
たエリートです。

見学箇所は「山梨県立リニア見  
学センター」「ブリヂストン東京  
工場」「東京電力川崎火力発電所」  
を始めとして、急ピッチで色々な  
事を吸収し続けられた毎日だっ  
たと思います。



ミャンマーからの留学生の方々の着物体験の様子

私たち劇団員は、彼らが高尾  
キャンパスに戻られる日は夕食を  
共にさせていただき、日々のふれ  
あいを通してミャンマーの自然、  
気候、風土の一端を知りました。  
特に、今回来られた5人から、思  
いやりのある優しい、深い心にあ  
ふれたミャンマー人気質を直に皮  
膚感で吸収できたこと、彼らが  
「東京の家族！」と言ってくださっ  
た事は忘れる事ができません。  
日本の唱歌「ふるさと」を一緒  
に歌ったことや、ミャンマーの水祭  
りの踊りを教わったこと、まだま  
だたくさんさんのエピソードと楽しい  
思い出を書ききれませんが、この  
企画に少しでも参加できたこと  
を感謝しつつ…。(記・原泰賢)

## TOPICS

# 新制作座の X'masパーティー

1 年の締めくくりでもある  
「新制作座クリスマスパー  
ティ」。12月20日の夕刻に「食堂む  
さしの」に集いました。

今回の劇団メンバーは上杉綾  
さんと福島里佳さんが加わり、  
賛美歌とクリスマスメドレーの合  
唱に厚みが増し華やかになりま  
した。そして今回嬉しい参加者  
は、高尾キャンパスの寄宿生たち。  
居島美有さんはオーブニングの  
キャンドルサービスの天使役を  
勤めてくれて各テーブルに暖  
かい灯りをともしてくれました。  
北野哲朗くんは数日前から合唱  
の練習に参加して劇団員と共に  
弾む歌声を聞かせてくれました。  
お集りいただいた50名の参加者  
の中に、新制作座中国公演の団長  
通訳を務めた胡一平さんと長女の  
和美さんの姿もあり、一平さんが  
「北京賛歌」の歌詞を訳し、劇団員  
達と一緒に歌ってくれました。  
そしてクライマックスはサンタ  
登場！プレゼントをもらった子  
供達の嬉しそうな顔に幸せをわけ  
てもらいました。(記・松原ふみこ)



藤川さんを囲んで、プチクリスマス会



ゲストの胡一平さんを交えて「北京讚歌」を熱唱



会場の様子(食堂「むさしの」)

## INFORMATION

### 劇団新制作座 創立65周年記念 「泥かぶら」東京公演 S席(指定席) 先行予約受付開始!

東京公演のS席先行予約の受付を開始いたしました。

S席一枚 通常料金6,500円のところ→5,000円  
先行予約締切:2015年3月31日

- ※4月1日受付開始の座席指定も優先させていただきます。
- ※申し込み方法は、同封の用紙にてお早めにお申し込みください。団体予約も受け付けいたします。



[演 目] 泥かぶら

[公演日] 2015年(平成27)10月8日(木) 19:00  
10月9日(金) 14:00/19:00  
10月10日(土) 14:00

[通常料金] S席6,500円(指定席) A席5,000円(自由席)  
学生席3,500円(自由席)

[会 場] 日本橋劇場(中央区立日本橋公会堂)  
東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目31番1号

[座 席] 客席・一階席277席、二階席147席  
車椅子スペース4席分 親子室12席分

[主 催] NPO法人 劇団 新制作座

#### 〈お問い合わせ〉

劇団 新制作座 東京公演事務局 電話:042-661-0001

## NEWS

### 衣装部 朱鷺-toki- より

新制作座の衣装の中でも多くの場面で活躍してきた振袖。皆様から応援の声もあり、きものレンタル部門を「朱鷺」と名づけ、皆様に着ていただけるように宣伝を始めました。

そんな中、星槎グループ宮澤会長のご紹介のお嬢さんと、前号の「新制作座だより」でご紹介した、胡一平さんのご長女和美さんの、成人式の振袖をご用意させていただくことになりました。男性の羽織袴のご依頼もありました。

劇団には素晴らしい着物が数多く保管され、

- 個性に応じた衣装合せが可能ということ、
- 料金が良心的でご予算に応じることが出来るということ、
- 着物が初めてなので立ち居振る舞いが解らないという不安にも、細かくお答えできることなど、

徐々に口コミで広がっていけばいいなと考えています。

今年は劇団のウェブサイトをスマートフォンに対応できるようにリニューアルしますが、「朱鷺」の情報もリアルタイムでアップしていきますので、ぜひご覧ください。いろいろな場面での着物の活用もご提案くだされば幸いです。



成人式を迎える呂和美さん  
きもの合わせの様子

### 大阪松竹座の壽初春大歌舞伎で 「将軍江戸を去る」上演

大阪松竹座の壽初春大歌舞伎で、眞山青果 作・眞山美保 演出「将軍江戸を去る」が上演されます。配役は、徳川慶喜に中村梅玉、山岡鉄太郎を中村橋之助、高橋伊勢守を初役で坂東彌十郎です。(敬称略)

眞山美保先生に直接指導を受けた梅玉丈の慶喜は、必見です!

公演日:1月2日(金)初日～  
26日(月)千秋楽  
夜の部 午後4時開演

### 編集後記

いつになく美しかった紅葉が終わり、楽しく美味しくにぎやかなクリスマスパーティの夜も明けて、しんと冷えた朝の霜柱がキラキラと輝き、ふわふわに積もった落ち葉の絨毯をザクザク歩く。冬は光と音との浸透率と距離感が縮まるような気がします。真冬の寒さに近づいて心身ともに引き締まり、気持ちも新たに新年を迎えました。

個人的なことを申しますと、昨年は父を亡くし、今年是一日一日を大切に丁寧に生きることを大切に感じます。そして、わたしが今ここ(新制作座)にいる縁を結んでくれた父に改めて感謝したい。わたしの人生にこんな素晴らしいことが待っているなんて思いもよらなかったよ。本当にありがとう。(制作担当:松原 ふみこ)  
次の「新制作座だより」は、2015年4月～5月に発行予定です。

[新制作座だより] 第6号 2015年1月1日 発行  
発行: NPO法人 劇団 新制作座 〒193-0826 東京都八王子市元八王子町2-1419